

10月21日(日)オープン! 福島市体育館・武道場の団体利用申請を開始します



▲オープンに向けて工事が着々と進む福島市体育館・武道場

福島市体育館・武道場(旧福島体育館)が10月21日(日)にオープンします。

オープンに先立ち、10月1日から施設予約の受け付けを開始します。詳細は、市ホームページ、市政だより10月号に掲載予定ですのでご確認ください。

■予約受付開始日時／10月1日(月)から

■受付内容

- ・11月分の随時予約
- ・12月分の抽選予約(アリーナのみ)

■予約方法

- ・インターネット(スポーツふくしまネット)
- ・携帯電話(ふくしまウェブ携帯版)
- ・施設に直接電話(☎535-4106)
- ・施設窓口
- ・利用者端末(施設内に設置)

※10月末までは、オープン期間として関連イベントや個人利用のみの貸館を予定しており、団体利用予約は受け付けません。

なお、施設概要や使用料その他詳しくは、市ホームページをご覧ください。

■市ホームページ

福島市体育館・武道場 検索



■問／保健体育課 ☎525-3786

福島市・飯野町 合併10周年



▲「飯野讃歌」「福島市歌」などを披露する飯野混声合唱団

福島市と飯野町が合併してから、平成30年7月1日で10年を迎えました。

8月8日には飯野中学校で記念式典を行い、サントリー食品アジア社長の齋藤和弘さん(本市飯野地区出身)に講演していただきました。また、合併10年の歩みを残す記念誌も発行。福島市と飯野町のさらなる一体感を醸成し、魅力あるまちづくりを進めていきます。

■問／飯野支所 ☎562-2111

音楽堂 ネーミングライツ・パートナー決定



▲パートナー企業と市長が音楽堂の愛称を披露

公共施設の愛称命名権を企業などに付与して対価を得るネーミングライツ。本市では初めて、企業側からの提案を受けて募集していた音楽堂のネーミングライツ・パートナーと愛称が決定しました。

■パートナー企業／福島信用金庫

■導入期間／平成31年4月から5年間

■愛称／ふくしん夢の音楽堂

■問／文化課 ☎525-3785

東京2020オリンピック・パラリンピック 福島市2年前イベントを開催しました



▲東京2020大会までのカウントダウンボードの除幕式を行い、盛り上がりを見せた

8月2日、東京オリンピックの2年前イベント「オリンピック・パラリンピックと語る夢×未来」を開催しました。本市出身でふるさと栄誉賞受賞者である萩原美樹子さん(バスケットボール)、増子恵美さん(車いすバスケットボール)などをパネリストに迎えた討論会や、パネリストと参加者が一緒にプレーするポッチャ競技体験、聖火トーチリレー、カウントダウンボード除幕式を行いました。

参加した小学生はオリンピック・パラリンピックと交流し、「自分もオリンピックに出てみたい」と夢を膨らませました。

■問／東京オリンピック・パラリンピック競技大会
福島市推進室 ☎563-5660

▶ポッチャを体験する萩原美樹子さん

▶聖火トーチをリレーする黒木知宏さん野



平成30年7月豪雨の被災地に応援職員を派遣しました



▲市長の激励を受け山口県光市に出発する応援職員

8月1～31日の1カ月間、豪雨で被災した山口県光市に、応援職員として技術職員2人を派遣しました。農業用施設の被災状況の調査や復旧に向けた設計業務など、被災地の支援に力を尽くしました。

本市と山口市は平成25年に大規模災害時の相互応援協定を締結。近隣自治体の支援に取り組んでいる山口市に被災地支援の力になりたいと本市が呼び掛け、中長期的な支援を必要とする光市への派遣が実現しました。

このほか本市では、岡山県倉敷市にも応援職員を派遣しました。7月23日～8月31日に延べ16人の応援職員を派遣してがれきの処分などにあたり、さらに7月26日～8月2日に保健師2人を派遣し、被災家庭の健康状態把握などを行いました。

東日本大震災では、全国から温かい支援と協力をいただきました。本市では、被災地の復旧をできる限り支援していきます。



▲がれき搬入の作業現場(倉敷市)



▲被災家庭を訪問する保健師(倉敷市)